

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 036	提案機関名 一般社団法人神奈川県園芸協会
要望問題名 鉢物、苗物生産における廃棄プラスチックの減量	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 環境負荷軽減のためプラスチック製品の使用にあたっては、再利用等に考慮し、廃棄量の軽減に努める必要がある。鉢物及び苗物の生産においてはセル苗トレイ、ポリポット、プラスチックポット及びポット用トレイが大量に使用されており、その対応は急務である。従前より紙製ポット等の代替製品は存在するが、コストや品質（特に耐久性）に難があり実用化に至っていない。一方、近年脱プラスチックの大きな流れの中で新しい素材も増加している。苗物、鉢物のそれぞれの特性にあった脱プラ資材の検索、検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	神奈川県農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 生分解性資材の活用法の検討		
対応の内容等	本県の主力品目であるパンジー・ビオラ（苗物）を対象に生分解性プラスチックポットの利用技術について、上記試験研究課題の中で実施します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			